



【証券コード：9651】

日本プロセス株式会社 決算説明会

2024年5月期 第2四半期



2024年1月19日

1. 2024年5月期 第2四半期連結決算

2. 第6次中期経営計画の取組み

3. 今期の見通し

1. 2024年5月期 第2四半期連結決算

2. 第6次中期経営計画の取組み

3. 今期の見通し

2024年5月期第2四半期 連結決算の概況

単位：百万円

	期首 計画	計画 対比	実績	前年 対比	前年
売上高	4,490	+51 +1.1%	4,541	+239 +5.6%	4,302
営業利益 (利益率)	450 (10.0%)	+12 +2.8%	462 (10.2%)	+14 +3.3%	447 (10.4%)
経常利益 (利益率)	480 (10.7%)	▲3 ▲0.8%	476 (10.5%)	+8 +1.9%	467 (10.9%)
四半期純利益 (利益率)	340 (7.6%)	+0 +0.2%	340 (7.5%)	+31 +10.2%	308 (7.2%)

売上高

前年比：+239百万円（+5.6%）

ほぼ計画通りの着実な売上
賃上げ等の転嫁やサービス価値向上による単価UP

営業利益

前年比：+14百万円（+3.3%）

コスト上昇を吸収し、営業利益率10%超維持

経常利益

前年比：+8百万円（+1.9%）

営業利益増に伴い上昇

四半期純利益

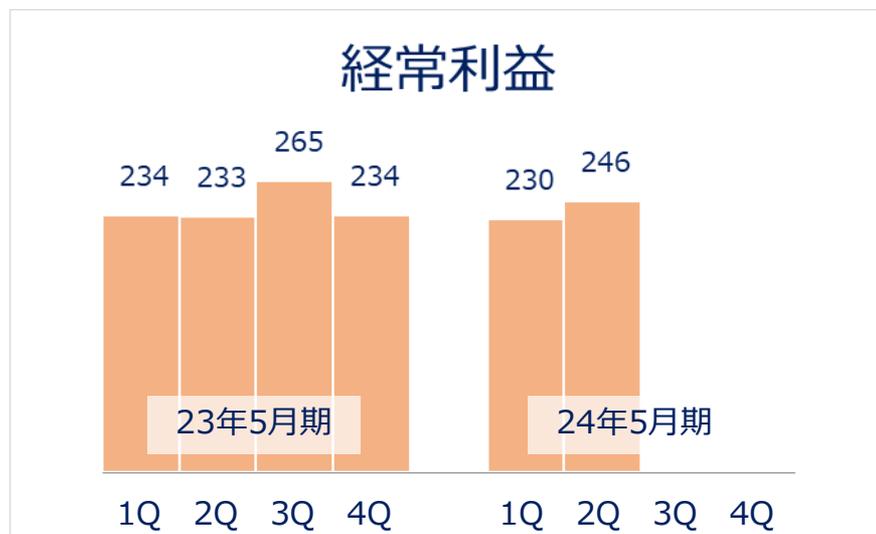
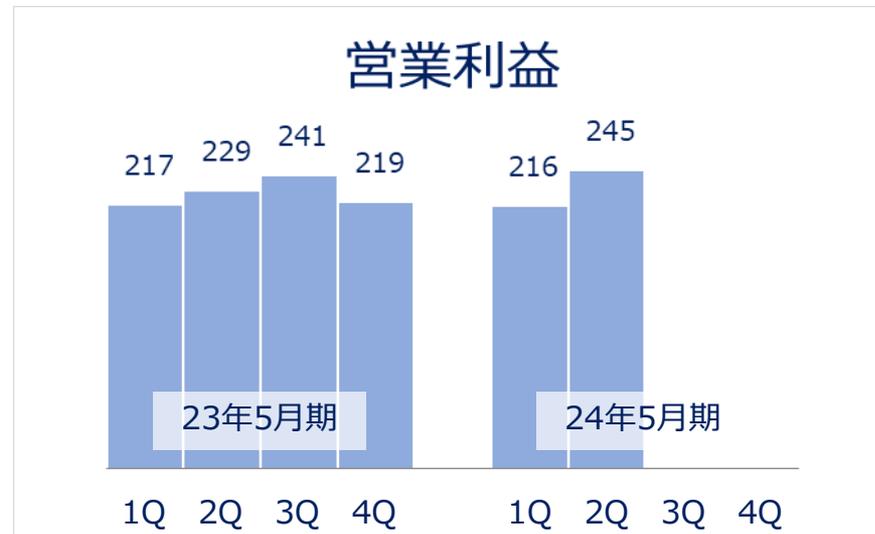
前年比：+31百万円（+10.2%）

前年の減損が剥落

- 人材への投資
 - ・ 期首に2年連続の賃上げを実施
 - ・ 中途採用（5名）、2024年春新卒採用（現時点33名）
- 働きやすい環境への投資
 - ・ 京浜地区事業所を分離・統合し、横浜事業所を移転、川崎事業所を新設（12月）
- サステナビリティへの取組み
 - ・ 22年度ESGデータブックをWebサイトに掲載

2024年5月期第2 四半期 連結決算の四半期推移

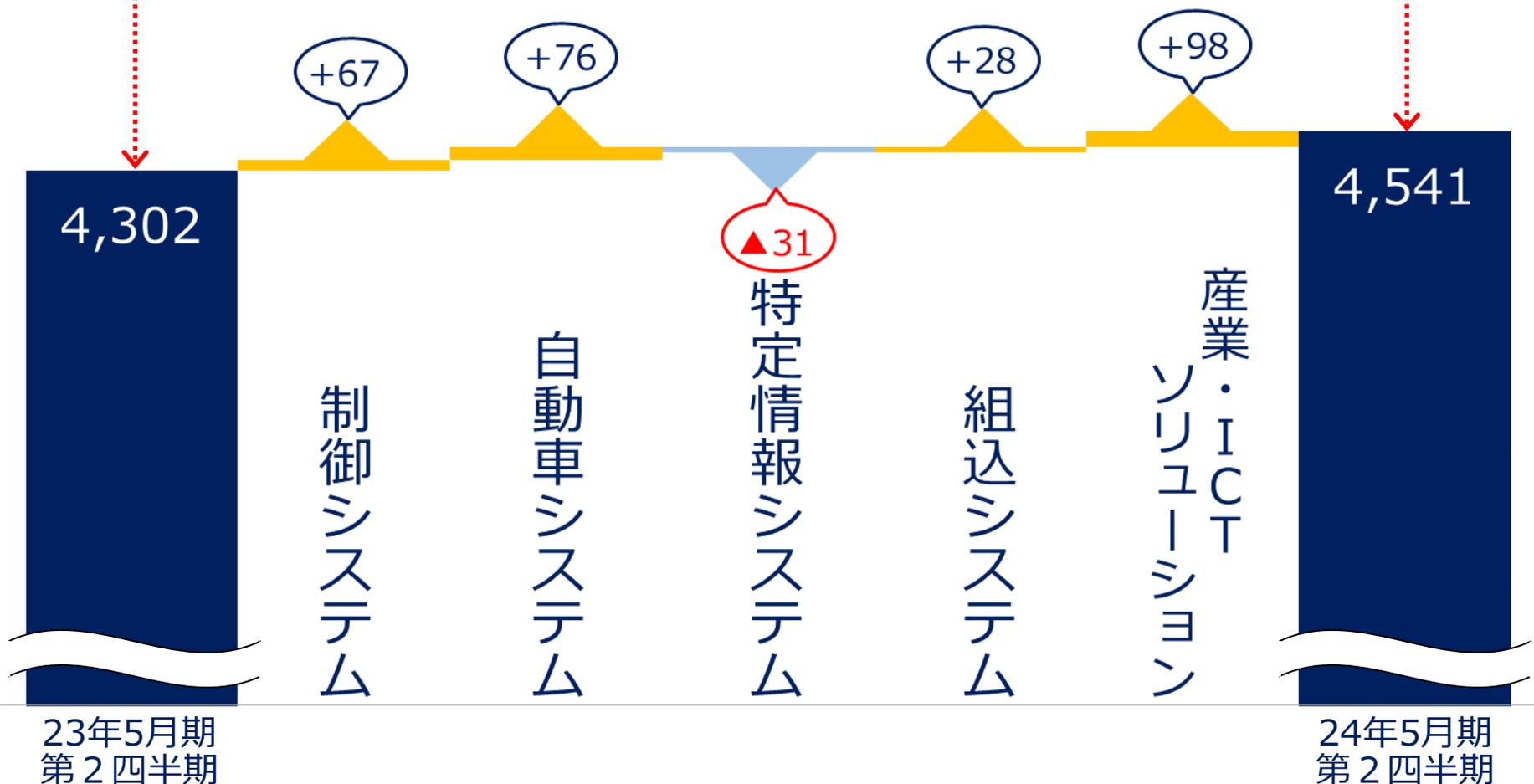
単位：百万円



セグメント別売上増減

単位：百万円

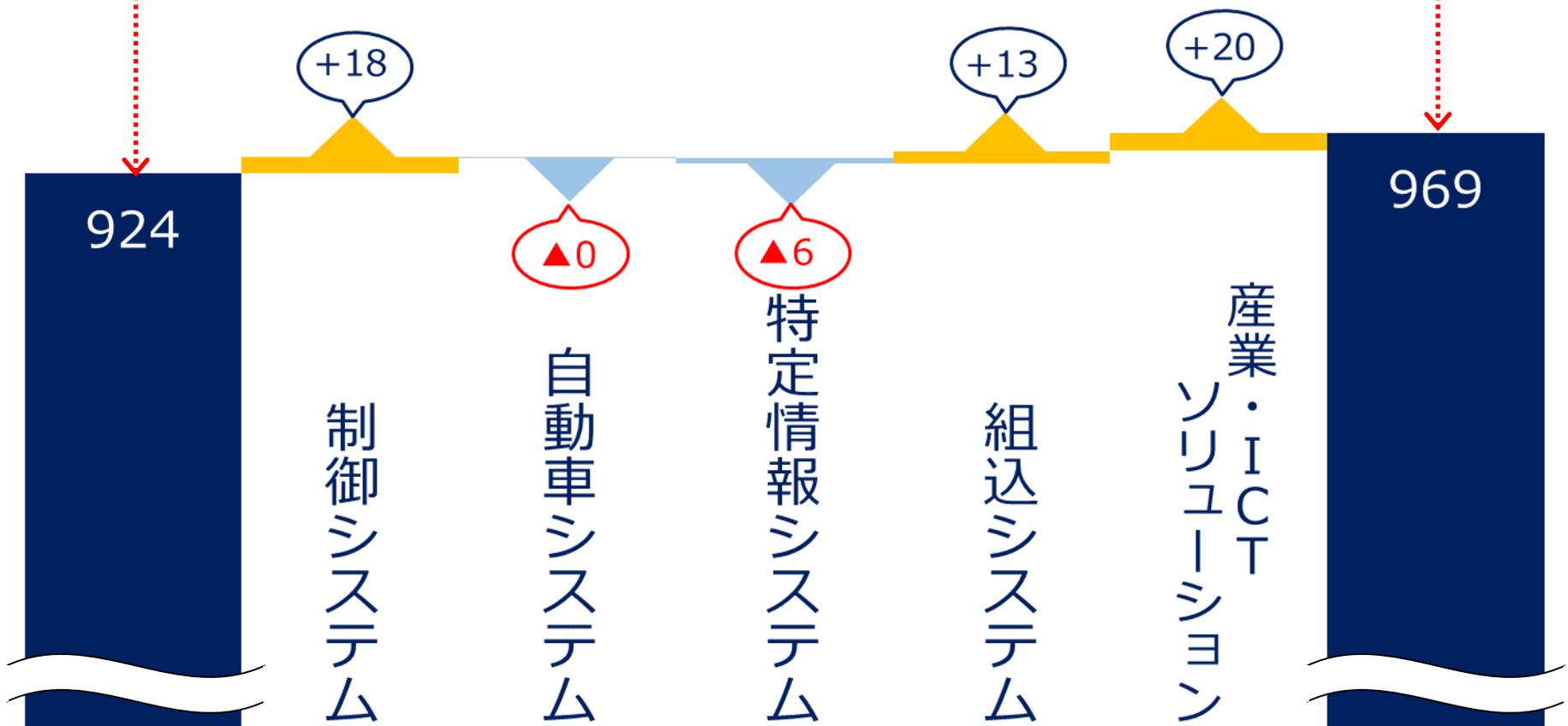
239百万円の増加（前年同期比：+5.6%）



セグメント別利益増減

単位：百万円

44百万円の増加（前年同期比：+4.8%）



23年5月期
第2四半期

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

24年5月期
第2四半期

制御システム

- 電カグリッド制御は一部開発延期により横ばい
- プラント監視制御システムは開発量が減少
- ATOSは前期からの更新案件が好調
- 在来線は新たに更新案件を受注し順調
- 新幹線は一部保守フェーズに移行し開発量が減少

単位：百万円

セグメント		23年5月期 第2四半期 (利益率)	24年5月期 第2四半期 (利益率)	増 減 (増減率)
制 御 シ ス テ ム	売上	645	712	+67 (+10.4%)
	利益	144 (22.4%)	162 (22.8%)	+18 (+12.5%)

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

自動車システム

- AD/ADASは新たな案件を受注するなど好調
- 車載情報システムは売上が横ばい
- インバータ制御は開発規模縮小に伴い売上が減少

(AD：自動運転、ADAS：先進運転支援システム)

単位：百万円

セグメント		23年5月期 第2四半期 (利益率)	24年5月期 第2四半期 (利益率)	増 減 (増減率)
自動車システム	売上	1,045	1,122	+76 (+7.3%)
	利益	301 (28.9%)	301 (26.8%)	▲0 (▲0.2%)

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

特定情報システム

- 航空宇宙分野(*1)は一部案件がテストフェーズに入り体制を縮小
- 危機管理分野は大規模案件が収束し体制を縮小
- 画像認識・識別分野の衛星画像は受注量が増加し好調

*1;航空宇宙分野は、2024年5月期より産業・ICTソリューションセグメントより移管しており、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較分析しております。

単位：百万円

セグメント		23年5月期 第2四半期 (利益率)	24年5月期 第2四半期 (利益率)	増 減 (増減率)
特定情報システム	売上	634	603	▲31 (▲4.9%)
	利益	108 (17.2%)	102 (17.1%)	▲6 (▲5.5%)

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

組込システム

- 既存のストレージ開発はメモリ不況で体制を縮小
- 新ストレージ開発は新たな開発案件を受注し好調
- IoT建設機械は開発量が増加し体制を拡大

単位：百万円

セグメント		23年5月期 第2四半期 (利益率)	24年5月期 第2四半期 (利益率)	増 減 (増減率)
組込システム	売上	665	694	+28 (+4.3%)
	利益	150 (22.6%)	164 (23.6%)	+13 (+8.9%)

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

産業・ICTソリューション

- 駅務機器開発は自動改札機等の新たな案件を受注
- 道路設備関連はETC試験装置開発で体制を拡大し堅調
- 官公庁向け開発は前期より開始した開発案件が好調
- システム構築分野は売上が概ね横ばい

*1;航空宇宙分野は、2024年5月期より特定情報システムセグメントへ移管しており、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較分析しております。

単位：百万円

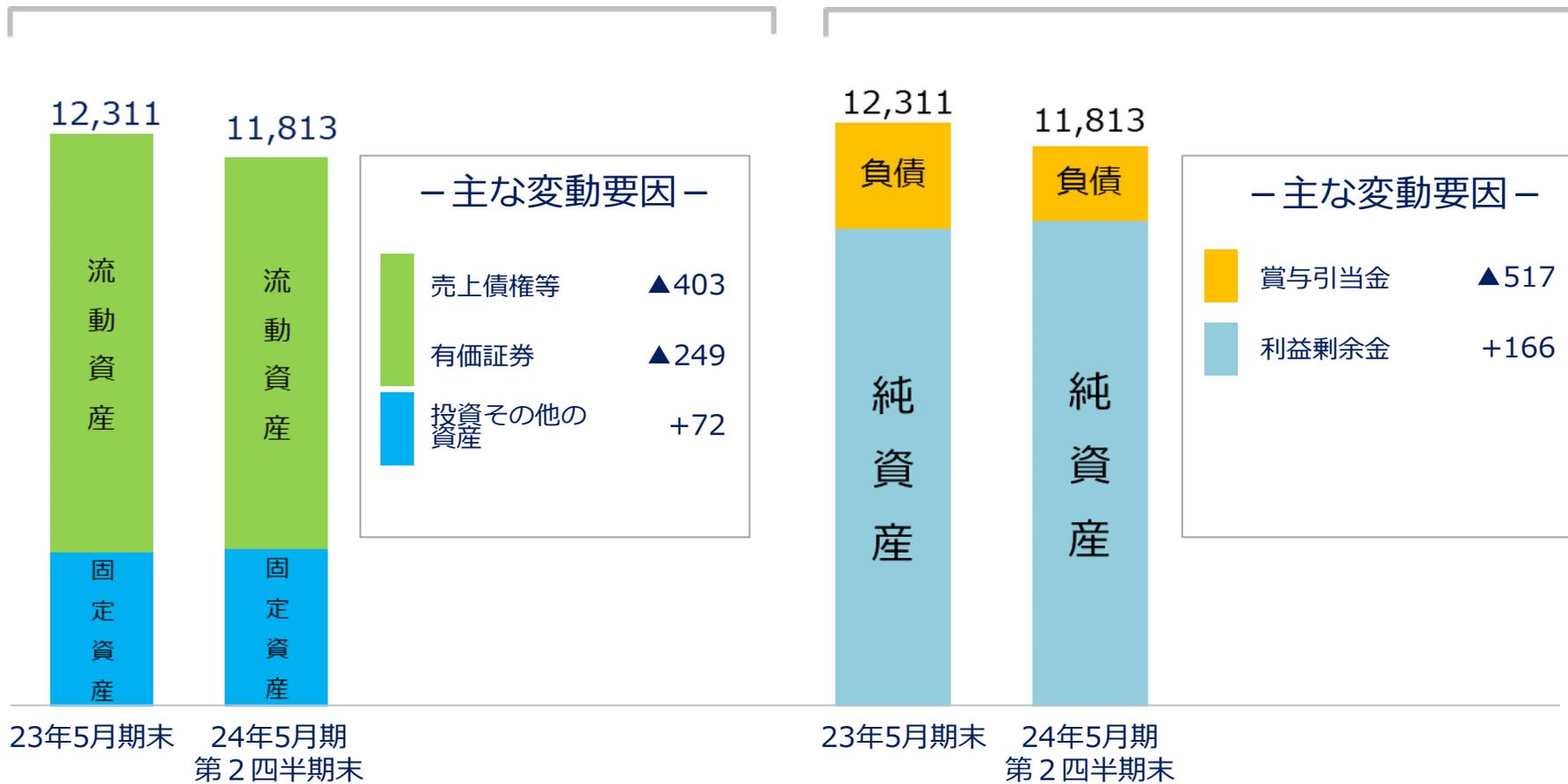
セグメント		23年5月期 第2四半期 (利益率)	24年5月期 第2四半期 (利益率)	増 減 (増減率)
産業・ICT ソリューション	売上	1,311	1,409	+98 (+7.5%)
	利益	218 (16.6%)	238 (16.9%)	+20 (+9.2%)

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

資産の部

負債/純資産の部

単位：百万円



財務指標（その他）

	23年5月期 第2四半期	24年5月期 第2四半期	(参考) 23年5月期
純資産額	9,801百万円	10,244百万円	10,077百万円
1株当たり純資産	1,014.54円	1,059.07円	1,043.28円
1株当たり四半期 (当期)純利益	32.02円	35.25円	70.7円
自己資本比率	85.6%	86.7%	81.9%
自己株式	984,439株	972,042株	985,439株
従業員数	681人	681人	691人

単位：百万円



※24年5月期第2四半期末残高は、為替変動による増加分10百万円を含んでおります。

1. 2024年5月期 第2四半期連結決算

2. 第6次中期経営計画の取組み

3. 今期の見通し

中期経営ビジョン

ソフトウェアで
社会インフラ分野の安全・安心、快適・便利に貢献する。

基本方針（2022年5月期～2024年5月期）

1. 人材育成のための大規模案件請負の推進
 - ①大規模案件受注に向けた営業力強化
 - ②新規設計力の向上
 - ③マネージメント力の向上
2. T-SESのトータル度向上

(T-SES : トータル・ソフトウェア・エンジニアリング・サービス) JPDの造語

1. 人材育成のための大規模案件請負の推進

①大規模案件請負受注に向けた営業力強化

部門間の営業連携と本社の営業支援を強化し、大規模案件の請負を狙う。

②新規設計力の向上

大規模案件等で、新規設計する機会をより多く創出し、新規設計力の向上を図る。

③マネージメント力の向上

大規模案件等で、プロジェクトをマネージする機会をより多く創出し、マネージメント力の向上を図る。

2. T-SESのトータル度向上

長期的な取組であるT-SESのテーマとして、各分野でトータル度を向上し、顧客へのサービス価値を拡大する。

1. 人材育成のための大規模案件請負の推進

- エネルギー分野は電力グリッド制御で更に実績を重ねる
- 危機管理分野は次案件の受注を確定させ、上位設計着手
- 航空宇宙分野は品質確保に苦労もやり遂げ、次案件の受注へ
- 社会インフラ分野は官公庁向けで成功を収め、次案件を確定



自らの成長と顧客の信頼を得て次の受注へ

2. T-SESのトータル度向上

- AD/ADAS関連は一括受注へ、トライアルとPM業務巻取り
- 交通分野はATOS装置一括受注へ、提案作業と技術習得
- 危機管理分野は主要機能一括受注へ、体制提案と上位設計
- その他部門でも分野毎にトータル度向上に取り組む



サービス価値向上とお客様への訴求効果により
持続的な採算性の改善と競争力向上へ

1. 2024年5月期 第2四半期連結決算

2. 第6次中期経営計画の取組み

3. 今期の見通し

2024年5月期 連結数値

単位：百万円

	23年5月期 実績	24年5月期 見通し	増減額 (増減率)
売上高	8,923	9,090	+166 +1.9%
営業利益 (利益率)	908 (10.2%)	915 (10.1%)	+6 +0.8%
経常利益 (利益率)	967 (10.8%)	970 (10.7%)	+2 +0.3%
当期純利益 (利益率)	682 (7.6%)	690 (7.6%)	+7 +1.1%

制御システム

- 電力グリッド制御は再生可能エネルギー次期システム受注を狙う
- ATOSは更新案件で担当規模拡大を狙う
- 在来線はJR各社業績回復による更新案件受注を狙う

自動車システム

- AD/ADASは基本ソフトの車種展開時一括受注を予定
- 車載情報システムは大型案件収束後の次案件を狙う
- インバータ制御は開発ピークが過ぎ体制を縮小

特定情報システム

- 航空宇宙分野は次案件の受注と立上げを行う
- 危機管理分野は主要機能一括受注を狙う
- 画像認識・識別分野は衛星画像の大規模案件請負を狙う

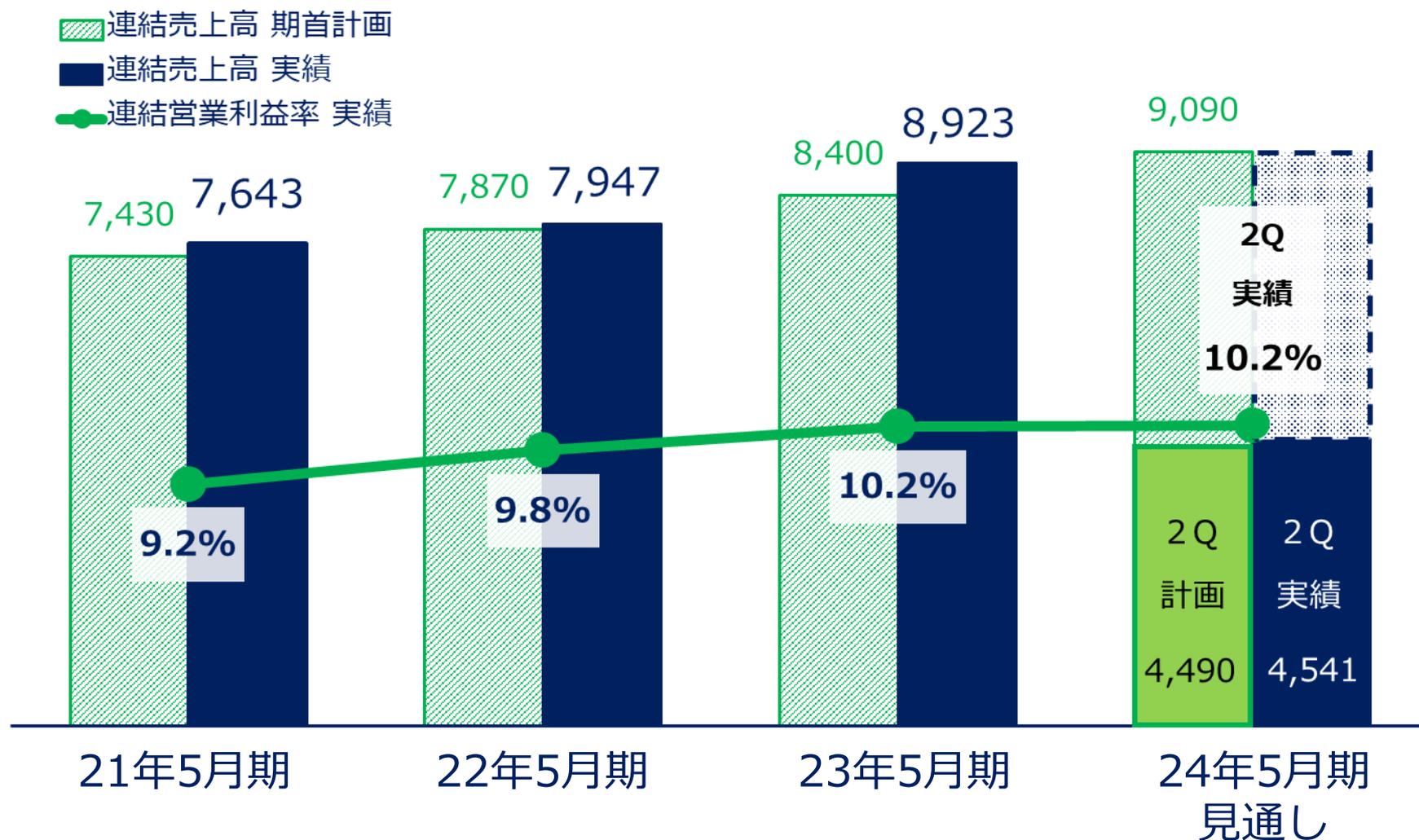
組込システム

- 既存のストレージ開発は市況底打ちも回復は来期
- 新ストレージ開発の試作開発で売上確保と育成を狙う
- IoT建設機械はコントローラ開発に続く次案件の受注を狙う

産業・ICTソリューション

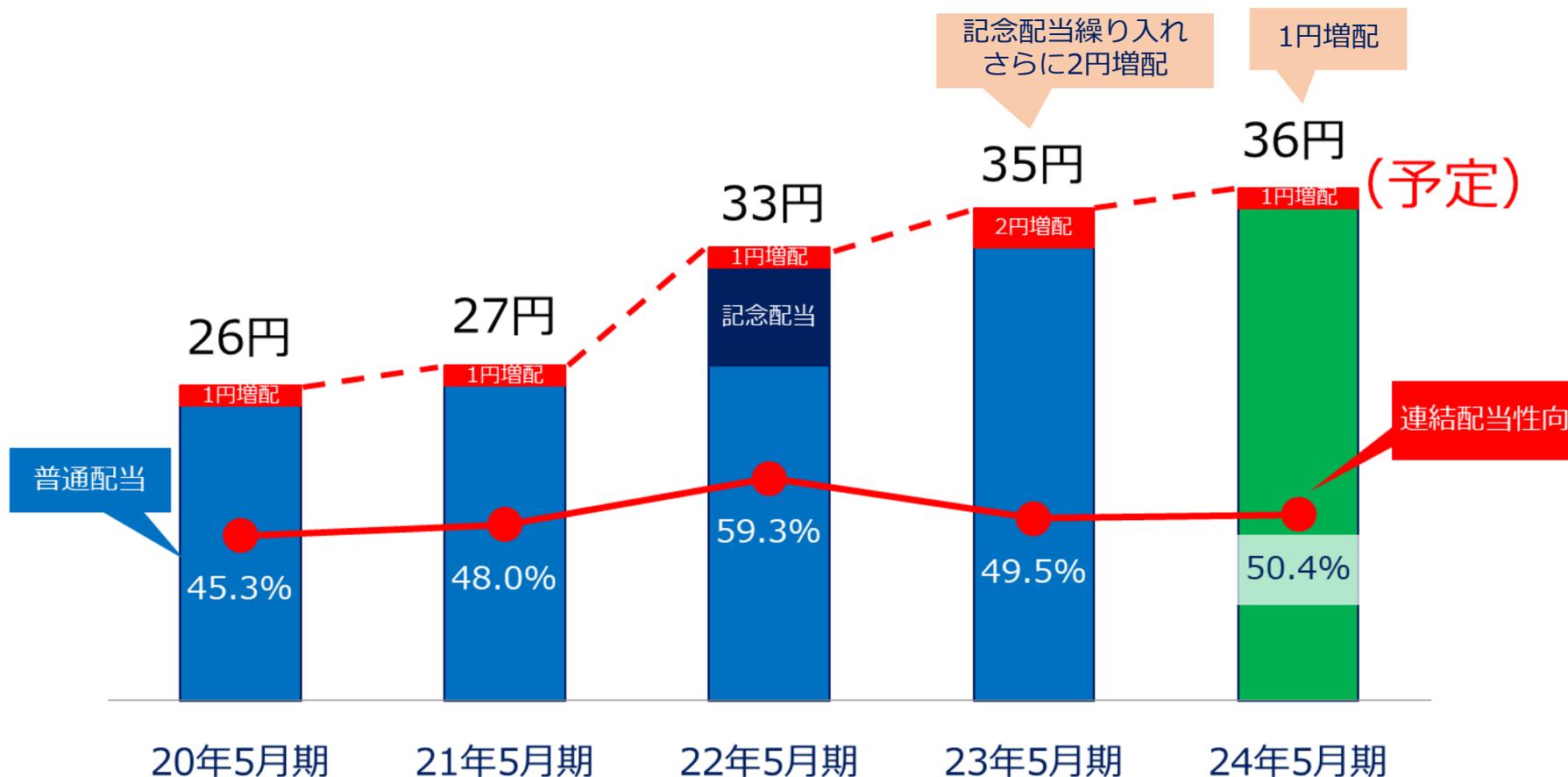
- 駅務機器開発は自動券売機更新の受注で拡大を狙う
- 道路設備はETC試験装置に続く関連開発受注を狙う
- 官公庁向け開発は次案件の受注で拡大を狙う
- システム構築は来期に向け大規模案件受注を狙う

業績の推移



配当方針

- ① 安定的配当の継続
- ② 連結配当性向概ね50%以上を目標



ソフトウェアで

社会インフラ分野の安全・安心、快適・便利に貢献します。

免責事項

本資料は作成時点での予測や仮説に基づく記述が含まれています。

これら将来の見通しに関する記述についてはその実現を保証するものではなく、既知、未知のリスクや各種要因により実際の結果、業績と異なることがあります。

お問合せ

経営企画部 部長 長坂啓司

keikibu@jpd.co.jp